平成27年度　シラバス　授業計画

アクティブラーニングⅠ(Active Learning Ⅰ)

担当教員名	川中　大輔、岡田　大輔	
学科，科目詳細	機械工学科 1年 前期 一般科目 必修科目 1単位 演習	
学習・教育目標	(D)(E)	
科目の概要	他者と共に考え、自ら調べ、行動していく、能動的な学びを知り、基盤となる知識や技能、態度を寛容していく。自他を知り、学びあう関係性をあたため、チームでの問題解決に取り組み、「答え」をつくる学びを体験する。	
テキスト(参考文献)	テキストは指定しない。授業内で適宜資料を配布する。	
履修上の注意	本授業は学習者同士での議論等を中心に参加型学習の手法によって展開する。勇気をもって自らの考えを声に出し、他者の声に丁寧に耳を傾けることで学びが豊になる。学びの場を共につくる過程に積極的に参与してほしい。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	各自の体験を通じた学びの深まりを毎回の「ふりかえりシート」の記述で評価する（60%）。チームワークの出来映えを授業内のプレゼンテーションで評価する（40%）。100点満点中60点以上を合格とする。	
連絡先	kawanaka@active-citizen.jp, dokada@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容
第1週　「アクティブであるとは、どういうことか？」ねらいと流れを理解し、共に学ぶ仲間として出会う。
第2週　「アクティブになるには、何が必要か？」アクティブな学びを支える風土を見出だす。
第3週　「学ぶとは、どういうことか？」私の「学びと成長」をふりかえり、学びの多様性理解を広げる。
第4週　「グループで学ぶとはどういうことか？(1)」「答えのある学び」でのグループの価値を理解する。
第5週　「グループで学ぶとはどういうことか？(2)」「答えのない学び」でのグループの価値を理解する。
第6週　「グループでの学びを深めるためには、何が必要か？」グループが活性化する要因を見つけ出す。
第7週　「グループでの学びを深めるチカラをどう高めるか？(1)」他者の考えを「聴く」力を磨く。
第8週　「グループでの学びを深めるチカラをどう高めるか？(2)」他者の動きを「捉え伝える」力を磨く。
第9週　「グループでの学びを深めるチカラをどう高めるか？(3)」自らの考えを「言う」力を磨く。
第10週「どのようにチームで問題解決を進めるのか？(1)」問題意識でチームになり、テーマを絞り込む。
第11週「どのようにチームで問題解決を進めるのか？(2)」情報を共有し、議論を掘り下げる。
第12週「どのようにチームで問題解決を進めるのか？(3)」問題解決のアクションプランをつくる。
第13週「どのようにしてチームへの共感者を集めるか？(1)」他者を巻き込むプレゼンの力を磨く。
第14週「どのようにしてチームへの共感者を集めるか？(2)」自らのプレゼンテーションの力を確かめる。
第15週「改めてアクティブラーニングとは何か？」学びを振り返り、今後自らに必要な学びを見出だす。
期末試験実施せず